

児童デイサービス はぴねす 支援プログラム

法人理念	住み慣れた地域で「愛し、愛され、愛すべき人と愛した地域で、その人らしく」生活を営むことができるよう医療・福祉・療育の連携を図り、地域福祉の推進充実に貢献する事を目指します			
支援方針	医療経験の豊富な作業療法士と、子供の成長に寄り添う保育士の専門集団です 感覚統合理論・ビジョントレーニングを基盤として、個別活動・集団活動に取り組みます ご家族・関係機関と連携し継続的な支援、地域に必要な福祉サービスの提供に努めます			
営業時間	午前9時00分から午後6時00分まで	送迎実施の有無	あり	
支援内容				
本人支援	健康・生活	児童発達支援	食事・整容・更衣・排泄などの基本的な生活習慣や生活リズムの獲得を目指します 心身の状態を把握し、見通しやルールを意識できるよう、絵カード等を用いた具体的な環境設定を行います	
		放課後等デイ	個人を尊重しながら基本的な生活習慣の獲得を目指します 自ら見通しを持って行動できる力を育てるために、自主的に考え行動し、必要に応じて援助を求められるよう支援します 日常生活の中で成功体験を積み重ね、自信につながられるよう支援します	
	運動・感覚	児童発達支援	遊びや活動をととして、姿勢保持や身体の使い方、協調運動などの基礎的な運動機能の向上を目指します 眼球運動や粗大運動・微細運動などを取り入れ、身体の感覚やボディイメージを育てる支援を行います	
		放課後等デイ	発達段階に応じて、遊びや活動の中に多様な運動を取り入れ、体力や運動能力の向上を図ります 日常生活で困り感が軽減されるよう、一人ひとりに合わせた支援を行います	
	認知・行動	児童発達支援	一人一人の認知特性(視覚優位など)に配慮しながら個別活動や集団活動をととして認知の発達を支援します 物の理解や分類、言語理解、興味・関心の広がりなどが育つよう支援します	
		放課後等デイ	個々の特性を理解した上で、個別活動・集団活動を行い、状況に応じた行動やコミュニケーションの向上を目指します 必要に応じてICT機器も活用し、分かりやすく取り組める環境を整えます	
	言語 コミュニケーション	児童発達支援	一人ひとりの発達に応じて、言葉の理解や表出を促し、気持ちの要求や伝える力を育てます 遊びや関わりを通して、やりとりの基礎となるコミュニケーション能力の向上を目指します	
		放課後等デイ	個々の特性に応じて、場面に合わせた言葉の使い方や相手に伝わる表現力を育てます 必要に応じてICT等も活用し、コミュニケーションの幅が広がるよう支援します	
	人間関係・社会性	児童発達支援	遊びや集団活動を通して、他者への関心や関わりを育てます 順番を待つ、ルールを守るなどの経験を重ね、安心して集団に参加できるよう支援します	
		放課後等デイ	集団活動を通して、友達との関わり方や役割意識、協力する力を育てます 社会的なルールや場面に応じた行動がとれるよう支援し、社会性の向上を目指します	
	家族支援	家族が安心して子育てができるように、子どもの発達特性や関わり方について分かりやすく説明します 保護者不安や悩みに応じて相談支援を行い、関係機関とも連携しながら継続的に支援します		
	移行支援	進学や進級に向けて、関係機関と情報共有を行い、環境の変化にスムーズに適応できるよう支援します 保護者とも連携し、進路に関する不安や課題について継続的に相談・支援を行います		
地域支援・地域連携支援	地域の保育所・幼稚園、学校や医療機関と連携し、専門的・科学的根拠に基づいた発達支援の助言・提案を行います 必要に応じて情報共有や訪問支援を行い、子どもが安心して生活できる環境づくりを支援します			
職員の質の向上	職員の専門性向上のため、定期的に研修を実施するとともに、内部・外部研修への参加機会を設けています 日々の支援の振り返りや情報共有を行い、支援の質の向上に努めます			
主な行事等	関連施設(高齢者デイサービス・就労継続支援B型)との交流会 通常の活動において季節(節分、ひな祭り、子どもの日、クリスマス会等)に合わせた行事を開催			